

SEMANARIO DE SÃO PAULO

Num. 223

14-Maio-1926

聖新報

Rocio Koyama
Redactor
do Semanario de São Paulo
Caixa 58 - BAURÚ
Estado de São Paulo - BRASIL
社主兼編輯人 香山六郎

近來痛快な英斷

去四月卅日、聖市に於て在伯日
本人同仁會總會あり、定款一部の
改正を行ひ、次年度出費豫算の可
決、理事七名の改選を行つた由で
ある。
定款第五條の變更は、會費月拾
ミルを五ミルに減じ、第六條(イ
)の變更は、是迄理事が聖市在住
者のみに限るとしたものを、地方
人も當選し得るとしたものであ
る。
在伯日本人同仁會が、斯く定款
の變更を餘義なくされた次第は、
地方殖民者等の、三年越の希望が
らであつて、赤松總領事、地方
殖民者等の意向を重んじられ、頑
固特權階級で堅めた同仁會委員と
交渉の結果、斯く定款變更を成就
したものである。
斯くて該會定款が、聖市の一部
特權階級のみの特權から、一般民
衆化し行く處に、在留邦人衛生機
關としての會の生命が、使命が快
よく今後芽ばひ榮ゆるであらう。
仄聞する處によれば、前理事の
一人、三浦繁が、本年度も理事に
當選したる由であるも、赤松總領
事は定款の示す如く、理事承認權
を使用し、彼三浦の理事當選を拒
否したと云ふ事である。
在伯邦人官民の間に、鼻つまみ
されて居る三浦が、該會理事の公
職に當選するとは、何處かに隠れ
たる不逞な術策あるを、疑はれた
處である。
是れに對し監督の任にある總領
事が、何等豫防線を張らず、彼が
暗々裡の運動に制肘を加へず、公
明正大に事を擧げ、當選の結果を
まつて自決をせせり、彼三浦が辞
任せぬ處より、最後に承認權の
行使と出で、遂に否認した事は、
近頃痛快な皮肉事件であり、美事
な英斷であつた。
衛生思想宣傳の上から、教育あ

る殖民者に、衛生パンフレットを
配布する事は悪い事ではない。
然し殖民一般の切實なる要求は
現罹病者等の呻吟苦惱の醫務であ
る。費費をばういて、一人丈けも
多くの罹病者に効果ある投薬治療
を期待したい。
ひかれもの、小唄
日伯新聞社長三浦繁は、在伯日
本人同仁會理事に當選しながら、
總領事の承認拒絶を噴つてゐる。
そのテレかくしに、俺は田付大
使と仲が悪いから、官吏同士の思
惑で、總領事、俺が同仁會理事當
選を承認しないとほざいてゐる。
彼三浦が今日の運命は、彼自身
播き來つた當然の収獲である。
在伯邦人殖民者にお粗末扱ひし、
資本家に媚び諂ひ、常に正義の裏
切者たる報ひに、今や彼三浦は曳
かれ者の小唄をうなつてゐる。

Dr. J. de Couto Junior
Praça Ruy Barbosa—Tel. 222
Baurú
聖市サンタ、カイヤ外科醫、婦人外科醫
泰頭ドクトール、アイレス、ネット氏助手
首席リオ、サンタカイヤ婦人科急症診療室主任
自由血、沙病院兼主治醫
パウルー、サンタ、カイヤ外科婦人臨床科主任
ドトール、ジ、デ、クント、
ジュニオール
外科手術、婦人神經衰弱症、泌尿器症
右専門のみの診察を受諾す
診察時間 午後一時より 五時迄

Denista
北米最新式治療
齒科醫 山中信一
ノロエスタ線、リンス町、寺院プラサ前
棉花 仲買商 岡島仁郎
雜穀 ソロカバナ線、セセーザ驛
郵函拾四番

Dr. Calixto de Medeiros
R. A. Alves, 42 — Baurú
臨床 手術 産科
小兒科
メデイロス
ブラーバ

前驛ルウバ
館旅本日
平心山沖

「此報一度流布さるゝや他の理
事連は愕然として驚いた」は變じ
やないか、お前さんの爲表面見て
も赤松總領事に請寄つた振を見せ
たのは山田高岡の理事長と、専任
理事二人で、他は口をこそ云は
ねど眼と腹の中では手を叩いて喜
んで居たのだよ。
「聖報の香山がチャンと文書に
成して握つて居る」つて、アハハ
が理事總會を召集して、連袂辭職
を決行しないかよ、どいつまると
なつて云ふ文書が書残さ

「公孫樹」
「此報第四十七號一面掲載
り連袂辭職しない處に芝居がある
斷生の文「赤松總領事の拒否權使
じやないか、堅白異同の辯は赤松
が文中の味味たつぶりな箇處を次
に書抜いて見るとした。そ、そ、
て、それを私一流の反對意見を下
して見る。
讀者諸君中彼に共鳴されるか、
私の反對意見を快く感じられる
か、それは各自に任せよ。
「元々問題は田付大使と本社と
の紛争で、はあやしいね、そん
なに田付大使と紛争する位なら、
何故田付大使へ金もらひの乞食根
生を捨てなだ。
「此報一度流布さるゝや他の理
事連は愕然として驚いた」は變じ
やないか、お前さんの爲表面見て
も赤松總領事に請寄つた振を見せ
たのは山田高岡の理事長と、専任
理事二人で、他は口をこそ云は
ねど眼と腹の中では手を叩いて喜
んで居たのだよ。
「聖報の香山がチャンと文書に
成して握つて居る」つて、アハハ
が理事總會を召集して、連袂辭職
を決行しないかよ、どいつまると
なつて云ふ文書が書残さ

Hotel Nippon
清潔で、便利な、日本人あつらひ向のホテルを開業
致しました、御愛顧の程、偏に御願申します。
ホテル、ニツポン
ノロエスタ線ベナ驛カフエランデヤ町汽車道通り
郵南七二 副島商店ホテル部主任 吉永宗義

SOCIEDADE COMMERCIAL
BASLER & CIA.
CAIXA, 102 — BAURÚ
棉花 買入れます
棉種子 繰精補機の設備あり
バスレル 商業會社
西北鐵道線專属の弊社用
「ワゴン」
數台運要致し居ります
パウル市 郵函一〇二

「然し此人が多少書を読み理義
を辨へて居ながら尚且つ此不爲だ
保證してあげるよ。
「赤松君内心は賛成して居ながら
「格別人を褒めない僕がタツタ
一度にしろ褒めたのだから、實は
そままでノボスレば本物だよ、
お前さんの白髪成程伊達ぢやなさ
そうだ、本物だ、本物だ、それ丈
だかね、赤松君が知らぬ様に俺
達連坐の面々もそんなと知らない
よ、今度は引矢八まん大菩薩目光
に、今度お前さんの低い鼻を狐
權現那須明神こちから三下り半
を奉つておくよ。
お前さんの常習語「若しそれ」
をかりて云へばだ、お前さんの同
仁會の理事は無能でもあり、殖民
一般から衛生的でないといされて
だよ。
お前さんは「ダニ」みたいな人
間だし、南京虫みたいな怪物だか
らな、此度もそうだろう、總領
事から自決をすめられた時、潔
く辭任すりや理事として死際の
花も咲かずに、「ダニ」みたいな
理事職に喰らいついたが最後離れ
ようとせないうで、徹首つてな惨
目に遭ふじやないか。
何も赤松總領事が田付大使の内
意をうけて、お前さんを徹首した
譯じやないんだ、其はお前さん勝
手に理屈をつけて大威張をやつて
るのだよ、尤も腹の中じやお前
さんも悦んで、ベシヨリして
るんだらうがね、瞞着心の強いお
前さんはそう大威張とでもいつて
みないと生で行けぬ淋さかろうだ
らうよ。變態心理だ、それが
烈しくなるとお前さんも立派な伯
國軍原將軍だよ。
「又僕が事實に立脚して忌憚な
く帝國大使を批評する、其理屈に
も赤松君内心は賛成して居ながら
」つて云ふ處、仲々お前さん一流
の常習語として旨いものだよ。
お前さんが田付大使批評つて、
一度も書いたのを讀んだ事ないが
何日批評したんだい、あるつて
頭の悪いお前さんだ、お前さん
んの田付大使は、何日も悪口に
喰して居るぢやないか、あれは批評
ぢやないよ、「物にしたさ」の現は
れから何日も書いて居るぢやないか
ら、なんて、是れは何時もお前
さんが、味方作り度さの敵おとし言
ぢやないか、賛成して居るなら賛
成して居るぢやないか、お前さんの筆で書い
てもらへば書いてもろう程本人は
嫌味があるよ。
「然し此人が多少書を読み理義
を辨へて居ながら尚且つ此不爲だ
保證してあげるよ。」

電報欄

ソビエト黨

の 新首領
モスコ(八日電) 一介の労働者から出て現在では電化運動の主腦者ウカノフ氏は、モスコ市ソビエト黨前首領カメネツフ氏の後任として八日選挙された。

露西亞の 大洪水

モスコ(八日電) 露西亞のボルガ河は大氾濫し、被害區域はコストロマ港よりゴロド方面に向つて二十哩の遠きに及、一千戸の人家を押し流した、死傷者及び損害は不明。露國では一八九五年以來の大洪水と傳へられてゐる。

瑪玉祥氏の モスコに着

モスコ(九日電) 義にモスコに向つて出發した瑪玉祥氏は本月九日參謀長を從へて同市に着した。或大學校では特に委員を派して氏を大歓迎した。

今上天皇の 御容態

東京(十日電) によれば、聖上陛下には腦貧血病にて御惱みあらせられし處、十日朝經過至極良好と承はる。

駐獨本田大使の 辭職

東京(十一日電) 駐獨大使本田謙太郎氏は最近辭表を提出した處政府は直ちに之を容認した。

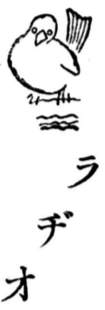
佛國労働者の 同盟罷業

パリ(十一日電) パリ市の或工場では労働者三千名が結束して本月十一日午後より同盟罷業を起した。

葡國政府 北米行 移民を厳禁す

リスボン(十一日電) 葡國政府は北米行の移民に對し、絶対に

旅券下附を嚴禁した。尙各方面に向ふ一般移民に對しても殆んど不許可の意を示してゐる。



▲聖市中央同志會々場建設計畫五年五十コントリス貯金は至極健實、プロ黨斯くて精練されて行く。

▲日伯社長三浦の半白髪頭が赤松總領事の禿頭にトチメラれた、殖民衛生機關の同仁會も是れで便所の掃除だけ済んだ型だ。

▲同仁會の理事承認權を總領事に持たす定款が面黒いと、頑固な舊理事諸君も一葉落ちて知つたらう

▲殖民衛生保健補助費三萬六千圓と印刷費の四十五コントリスとは略三と一の割である、殖民にパンフレットの紙を充分喰はするが衛生保健でござる。

▲地方各殖民地にマレッタ大流行蚊の多かつた今年の夏が暗示して居た。

▲ジュキヤ線春野生(日伯掲載)の低利一文は三浦整の欠伸と尻で御座る、ジュキヤ、イグワツベ殖民老いたりと雖も禮讓を知る殖民である、草紙にはおだてられぬ。

▲棉の値思惑はづれる、ソロカバナ殖民も、アラ、クワラ殖民も更く秋が寂しい。

▲ソロカバナ線の旅に上つた總領事ジャカレ翁に又ジャカレの話きかなんだか。

九州旅館

親業 可致 切業 可致 親業 可致
助 龜 良 高 主 館

Marcenaria Japoneza Masagi, Koga 造製具家 賣に並販 街日一月八市ルウバ (前真マネシ) 次政賀古

Hote d'Oeste ドエステ旅館 館北川房吉 電話二二六番 郵函二八七号

ホテル 常盤 聖市コンデ街四一番 電話セントラル六一七三 郵函一八五〇 石原桂造

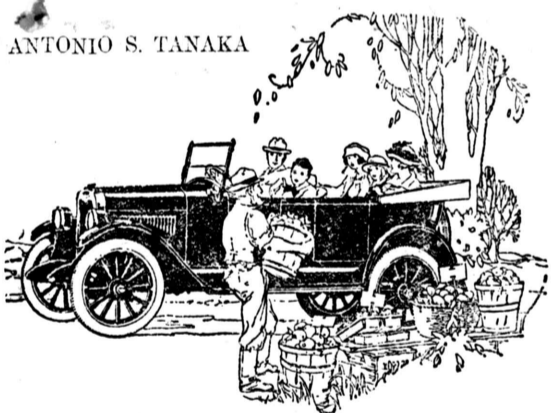
Hotel Oriental

Armazem de Seccos e Molhados Bebidas Est. PROMISÃO Caixa, 47 Tel. 81

東洋旅館 並に 平田商店 館主 平田千嘉藏

Officina Mechanica

ANTONIO S. TANAKA



各種自動車修理 各種一般修繕 各種自働車修理 各種自働車修理

Alfaiatari Yabe

SÃO PAULO

最新歐米型迅速可嚙御用命ニ應ジマス 矢部洋服店 聖市、ラルゴ、ダ、セー九 二階の第一號

旭

日本料、伯國料 隔日 室の清潔、御食事は改良致しまして

秋田久米三郎 カフエ精選所

CASA ANSE Armazem e Machina de Beneficiar Café

商穀雜 安瀨商店

北西線 ビリゲキ植民地 アグウア、サンバ區

Agua Limpa Biriguy

ダイヤほりに

流浪の旅 (十四) 豊富發揚

相談
城間新夫婦と吉嶺君と俺とが、クヤバの町の床屋の一室に、何んなく仲よく日を暮つたろうか、それは讀者の想像にまかせる。
「俺が吾が」「君が僕が」の言を俺が使つて話し得るもの、楽しみ南米の中原でもそこに日本が生きて居るんだ。
或る雨の日の午後吉嶺君と城間君とが、俺に相談があると聞き直何の事だとなや／＼して居る俺に持ちかけたのは、ダイヤ掘り再興の事だ。
その頃俺もモーターカーの病人の顔を見あいて居た。
よからう併し、俺はダイヤ掘りか、彼のカスミンガ峽谷の労働者二千八人相手に野菜屋専問で又這入つて見たいね」と條件を出す、それもよからう、兎に角今一度今度は女連れの四人で行くとしやうという事になる。
だが、今は何をしても雨期だ、野天に働くもの、長い野原道徒歩旅行するもの、甚だいやがる時節だ。
此の雨期を過ぎた後に出發する、それから此の同志は寄るとさわると其出發用意に氣を配つた。

御旅館

聖市、カンタレイラ街九〇番

電話シゲラデセー七三三六 郵函 一二四三

K 三共商會 前田吉太郎 電話セントラル三〇五五三 三二五五三 三二五五三



創作おみき

高橋白花

わみきの妹のわみきは元來姉より、快活な性質で、外人の娘等と星光る土曜の晩などはよくキャッ／＼と遊び戯れ、赤コローニアパイ等のある時には、何時も唯一人の日本娘のまどろ子として、

わみきがわみきの子供のやうだと思つてゐるに拘はらず、隣耕地の、珈琲成金の息子や、ズット奥の殖民地の二三の人達から結婚を申込みたが、まだ小娘の當人は更なり、わみき夫婦としても、

「姉さん、一緒にどう……」といふわみきの子供のやうな者を入らして、子供の手を握り、胸が、一やうに、

わみきのわみきの子供のやうな者を入らして、子供の手を握り、胸が、一やうに、



わみきは消えかゝつたフオゴンの火を又口をよくらましてフツと吹きつけた。

聖州詩壇

第一モソソソ 宮口生

吾がこゝろ、波にも似て碎けたるか、など圓かななるまゝに寫さるる、

しなびた

梨 羅

胃病のくせになか／＼喰ひ辛抱なその婦人は、困つたやうな顔を、

「だつてお母さん、父さんは僕を打つもの——何もせんに……」

久し振りにフレスコな野菜を得てのは、隣りのフアゼンダに住むビ、

開業七周年紀念賣出し
中矢商店
K. NAKAYA
R. C. Sarzedas 13
S. Paulo

ビリグ井町ニテ
今度當店は御客様の御便宜の爲事業を擴張致し、

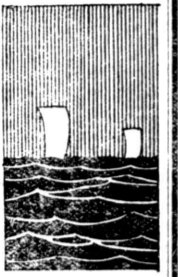
Hotel Japonez
日本旅館
北西線ペンナ驛カフエーランジヤ町
川尾 利市
郵函一〇一

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO
郷里送金

CASA TOKIO
材木 家具
商カーザ東京
墨市、ルア、バロン、デ、
イタベチニガニ〇
杉本芳之助

Casa Nishimoto
Armazem
買仲穀雜
西本商店
ノロエステ線
アラサツバ驛 郵函二〇八
アグワリンバ

富士山醬油合資組合
富士山醬油
北西線ペンナ驛平野殖民地
藤澤 豊治郎
山本 宇一



祖國便り

鐵道の通信係か

二音式電信を發明

專賣特許權をとり 逓信省でも採用

鐵道省運輸局通信係横山見造、關東聯盟の諸團體である。この脱東京鐵道局通信係近藤國五郎の兩氏は過去十年間通信事務及び設備の改善に苦心中だつたが、愈々今度其が報はれ、最近日本通信界のレコードである二音式通信法を發明し專賣特許をとつた。鐵道局では來る六月頃から鐵道通信は一切二音式を採用するに決まつた。従來の電信は總て一つの鎖を打つ長短で文字を示してゐたに反し、高低二つのキイがあつてそれを打ち交はして文字を耳から知る装置となり、通信能力は向上し且つ熟練も速で素人にも發信するに困難でないから、人物經濟上からも大變利益がある。逓信省は將來同氏等の特許權を買取し、全國電信を二音式に變更する方針を立てた。

國有財産總額

六十三億四千萬元

本年三月現計の國有財産價格總額は六十三億四千三百六十八萬七千圓であつて之を各省別に示せば左の如し(單位千圓)

外務	一六、三〇八
内務	六八一、五三一
陸軍	五三二、二一六
海軍	八四〇、八四五
司法	一、〇三三、七六六
文部	七六、〇七四
農商務	二一三、四七三
逓信	一、一七七、七五七
鐵道	二〇三、四四〇
計	五七八、二七一
	六、三四三、六八七

東京伯林間の直通コース

所要日數十六日

今度東京ベルリン間の直通コースの協定がなり、參加國の異議さへなければこの十五日から實施するに於てあるが、その通過は敦賀から浦塩に上陸、アムール鐵道でチタへ、シベリヤ鐵道でモスクワに行きリガを経てベルリンに到着するもので日數は十六日その料金一等で七十六圓餘といふ。

右傾農民の顧問に 那須博士

新政黨樹立の大勢力

漸く風々の聲を擧げた日本農民組合が早くも内部の軋轢から分裂した。脱退したのは無産階級第一政黨論を説く急進派に對し、日本農村の現實に立脚せよと主張する現實主義の山梨、福岡兩聯合會と

四千人の罷業

帝國ホテルの建築に使はれて有

の大谷石の従業人夫四千名が、巖田町島崎清水市清水上町一丁目井上倉吉(五〇)さんと同市に罷業の暴徒の爲めに二人で、近く出發を前にしてじゆん備に忙殺されてゐるが、兩人は「勿論生命がけの仕事だが成功を確信して居ます。動機なんて別に無いです。西洋ではヨットで太平洋を横断したり、カヌーで南洋探險などをして居るのに、日本は海國を威嚇しながら斯うした金で、享年六十有七歳

攝政宮

滿蒙策御聽取

兒玉長官御召し 攝政殿下には四月一日午後二時兒玉關東長官をお召しの上所管事項特に議會で問題になつた我が對滿蒙政策に就て御下問あり約一時半に亘り御説明申上げ同四時頃退下した。

建物處分

郡役所は愈來る七月一日から廢止されるに決定したが、廢止後の建物を如何に處分するかに就ては郡議會、畜産組合等郡を區域とする産業組合から無償譲渡を懇請し、農林次官からも内務次官へ部を區域とする産業組合に譲渡交渉中である。一方大蔵省からは各府縣の稅務署は多く借家であるから、稅務署に譲渡を交渉して來たが、郡役所は元來郡費を以つて建築し、郡制廢止後は縣に移管し、現在縣の營造物となつてゐるから、僅か三間のヨットで……

日本の近海めぐり

ロビンソンを氣取つて乗出す二人

本州及附屬島全部の沿岸航程二豫定は六月が何分ヨットの五百哩を僅かに長き三間のヨットでその日々の風次第ですから豫定もあてにはなりません。まあ氣長にやります。費用は夏時間貸ボートで貯めたのを之に充て、豫定が延びて不足したら行く先々で釣でもしながら資金を作り寄附は一切受けなかつてもりです。

一枚數万圓の古切手

郵便切手展覽會

四月一日から麹町富士見町の郵便博物館で郵便切手の展覽會が催され出品は數千點の多きに上り、珍品が千五百種もある。古切手の

大正十四年度 鐵道省の収入

汽車貨と手小荷物

大正十四年度の鐵道省旅客收入の總額が出來た。乗客の汽車貨二億三千九百卅一萬九千六百九十四圓、手小荷物運賃二千四百八十萬八千八百九十九圓、合計二億六千四百二十二萬八千五百十三圓、となり前年度より三百九十八萬八千九百八十二圓の増加で、豫定收入から見れば七百四十四萬一千四百八十一圓の欠があつた。貨物收入については運賃期定もあつて目下調査中だが、やはり前年度よりは増加らしいが、豫定收入に比べると大穴があく模様だが、之は鐵道省の役人が深慮をきめ込んで豫算を作る時取らぬ理の皮算用をでしおかけである。

東京の大火

八百七十戸を焼く

三月廿日午前二時卅二分東京府下西巢鴨町字向原三〇六九番地某民家から出火したのを第三消防隊の火の見櫓で發見し、警視廳消防本部を始め、市部消防隊の自動車ポンプ七台が馳つけ消火に全力を盡したが八、九メートルの烈風に煽られて火は稠密した人家をなめつ、猛烈に延焼し、赤羽工兵大隊より出動した五十四名の破障消防隊等あらゆる努力も空しく、巢鴨町字向原から同町上窪の半分、雜司ヶ谷町旭出の大部分、同町水窪の一部に亘つて全半焼取りまぜ八百七十戸を焼き、同四時卅五分漸く鎮火した。

損害は不明で、死傷者は無い見込であるが、同地は小家庭の密接したところとて罹災者三千五百名に上りし。

遂に逝く

名優澤村訥子

名優の名に劇界の名物となつた澤村訥子は麻布の額田病院にて治療中、三月二十六日近親の看護に護られて遂に死去した。

齒科 向井 丈松 北西線プロミンソ 郵函 四八

S. Masaki
Compra Café, Içodão e Cereais
Escritorio
Em frente a Estação Promissão
Caixa Postal, 16
Neroesie
間崎三三三
雜穀仲買

Restaurante YANAGU
柳木料理店
御望みにより汽車内へ御携帶結構の「おべんとう」も差出し、向酒肴、水菓子の色々をも調つて居ります。

新流行反物、内外化粧品、日本小間物類、文房具類、食料品、種子物、書籍、金物類、殺物仲買、アルマゼン
ヤナギ兄弟商店
北西線プロミンソ 郵函 十八

CASA OHARA DE OHARA & IRMAOS
ARAÇATUBA
machina de beneficiar ARROZ, ALGODAO E MOINHO DE FUBA
大原兄弟商會
雜貨一般卸及小賣
北西線アラサツバ市
カルロス、ゴメス街
電話 三〇 郵函 二〇八

Dr. João B. Faraz
Avenida Rodrigues Alves, 38
Baurú
X 光線
X 光線作用検査
X 光線應急治療
A C K 燈治療
紫外光線治療
物腫 婁管 神經痛
脾疾 患 濕痒 傷腫
骨膜結核 瘡疾 患
パウル市
アベニダ・ロドリ
グスアルベス三八
診察時間
午前九時より十時まで
午後三時より五時まで

八十五万圓

衆議院を通過した模様

(近着の萬朝報上に大正十五年追加豫算の見出にて) 政府は去三月十八日衆議院へ大正十五年追加豫算案第一号第二号を提出した。

大正十五年追加豫算案第一号 入歳出豫算追加案第一號 大正十五年追加豫算案第一號として計上する處の金額は、歳入歳出各千七百六十三萬五千四百九十八圓にして、その通過を要する事項金額中(歳入臨時部)第一番目に

ブラジル居留民早救済貸付金 二萬一千二百五十圓とあり 歳出臨時部 外務省所管中の第八番目に在伯刺西爾居留民早救済貸付金 八十五萬圓とある。

流行

患者は殆んど日本人 北西線ベナ驛及リンズ驛附近邦人在住者中には、昨今マラリヤ患者續出の模様にて

大使一行

(マナウス通信) 去る七ロアマゾナス州政府は、田付大使一行の爲め、マナウス市より有名なカンボサール自働車道の道邊を催し、午後はお茶の會を開いた。

學校問題

平野植民地 平野植民地ノロエヌテ線ベナ驛平野植民地の學校問題は既報の如く殖民の意見一致せず、爲に役員諸氏は非常に頭を痛め、遂にバウル領事館を煩はし漸く圓滿な解決を見るに至つた。

送金四ヶ月迷ふ

リンズ宛の方が便利 十二月末リオ正金支店送金、受取人北西線ベナ驛郵局一〇一市川某宛のが四月初め漸く本人の手に入つた由。

新移民の縣別

去る六日北西線へ這入つた新移民の縣別は、ベナ驛、ツキ耕地、北海道、島根、岡山、鳥取、

五月十三日祭

伯國の奴隷開放日である。それと各官衛學校銀行商業取引はお休みの日である、奴隷の血をうけた人々にとつては感激多いお祝ひ日である。

棉花の値

棉の名所のソロカバナ線は、昨今其收穫期に入つて居る。棉花の相場は一向思はしからず、現下セルケイラ驛附近は一アローバに七ミル乃至八ミル臺である。

福壽植民地を見て

加納 一 意 去る四月二十五日バウリス廷長線福壽植民地に遊び、植民地に入つた第一歩の印象としては植民者の温かい親切に感じた。

大衝突

セントラル線 八日の真夜中一時半セントラル線、グワラチンゲタ驛三キロメートル近くにてリオ發の客車とサンパウロ發の二番夜行が前面衝突をやつた。

妻又女儀永らく病氣の處療

養不相叶去月二十八日リオンに於て永眠致し候間此段生前辱知諸賢に謹告仕候

友人惣代

橋本 鶴三 廣田 千代太

鍛冶 北西線プロモーション町 木本改造

小川 宿 御 市聖 川小 番六拾街下タルフ 六七四四 ルラトセ 電話

貸自動車 Automovel 伊藤 元 登

澤尾旅館 前 驛 ル ウ バ 七 磯 尾 澤

K. Yamane Armazem Seccos e Molhados Postal 124 Lins 山根商店

日 御 菓子製造所 せんべい まんじゆ 羊羹 執行 傳 吉

Dr. Maçakazu Saçada R. Adelaide Freitas No. 20 Travessa da R. Coronel Cintra Princípio da R. Mooça 聖市モツカ區アレイデ、フレイメス街二十 (コロネル、シントラ街橋番町)

ARMAZEM de Seccos e Molhados 青木商店 清酒正宗雜貨類一切小説、雜誌類 小供大和蚊帳 (やまとがや) ありませす 北西線リンズ驛 寺院プラサ

Dr. J. N. Longo Medico e Operador Avenida 21 de Abril, 15 Lins 診察時間 午前 七時より 午後 二時より 五時まで リンズ市 ビンテウンデアフル街一五 ドトール ロンゴ

DR. LIPIO DOS SANTOS A. Rodrigues Alves, 7-85 tel 148 Baurú 産科婦人科チアテルミ 出血、子宮病、卵巣炎、一般炎症、リウマチス、イボ腫、顔面腫物、フエリ、タブラ、ラ、イ



女忠臣藏

碧る 瑞園 (廿三)

「女の身で二百里の道中……尋常一様とは、お國許の様子も聞き度い、内蔵助家中とあれば陪臣とかまひはない、これへ通しや、直々會はう」

「赤穂から江戸まで二百里に餘る道、山もあれば川もあり、恐ろしいお國所もござります、それを女の足、お着と云ふが、眞實でござりませうか」

「お私もそれを思ひます、平左衛門殿は忠義漢、大石様は御城代、それ程の道ある筈とは存じませぬ、お油断なりませぬ、吉良様のお手當、行き届かぬ限もないと申します」

戸田の局は容易に合點する様なかつた、三人が頷を賜つて暫時は遠來の婦人に對して、さまざまの邪推、さまざまの批評、又さまざまの疑念を挟んで後、戸田の局は鐵札か金札かを見極むべく、對面の間へ出た。

戸田の局は二人を吉良家の問者にてはなきかと疑ふ心が深かつた、戸田の局が坐を立つのを待ち兼ねて、お絹は歸り仕度をした。

「恐れながらこれでお暇致します、一兩日の中重ねて御機嫌伺ひに参ります」

「もう行きやるか」諸泉院は意外であつた。

「ちとさしかつた用ござりまするで」と、お絹は詞を濁らして「お暇を願はねばなりません」

「早や歸ると喃」諸泉院は失望の色が見えた。

「重ねて御意を伺ひます、お絹はそわ／＼として云つた、坐つて居る様の下から針で突かれ、人のやうであつた、曾つて一生御奉公の望みを抱いて此の御殿へ駆け込んだ時とは宛然別人を見るやうであつた、諸泉院は頼みなき人、心と諦めて、引留める力もなく、本意無いと喃、久し振りに顔を見たり、一生涯側に置いて、互に胸を語り合つたら、心の鬱を忘れ、お絹はさうと思ひ、土佐守殿の許しを受けて態々使を遣はした、その甲斐もなう、早や歸りか、強いては止めぬ、機會あらば又参らうぞ」

「御恩は忘れませぬ、御方は忘れませぬ、絹に命有る限り、魂はお側、あだし心は持ちませぬ、なれど今日は……」と、又云ひ濁つて「是非なくお暇致しまする」

お絹は一心に云つて居るのであるが、いふせん院は其場凌ぎの辯解のやうに聞かぬ、お絹が平伏した様の上に、幾滴かの熱い涙が溢れて居るのを、誰も氣付くものはなかつた。

いふせん院は再び挨拶しやうと、お絹は再び付添つて居る侍の爲無かつた、付添つて居る侍の女中も、お絹が折角の思召を返すに、心強くお暇を戴かうと、お絹は、心憎く思はれた。

「お着し下りませ、皆様お有り下りませ」お絹は三方四方へ頭を下げて、惜々として出て行つた、いふせん院は見るものうらみ横を向いて居た、侍女どもは又しても、お絹の道無きにつれて居た、初秋の風が又吹き荒れた、色のあせた七夕の名残の短ざくが、ひら／＼と垣にかゝる、その邊りに紅の花が咲いて居た。

「局は何うしたか喃、甚つう手間がとれ申す喃」

いふせん院は待ち草臥れたやうに云つた、お絹が振り切つて歸つた不平を、早く局に訴へて見度か申すやうと、奥様くれ／＼仰付けでござりました、それをお局様へさし上げるは、奥様の仰付けを、反古にするも同様でござります」と、云つて拒んだ。

「其處もある、おやがお局様、私共をお疑ひのやうに見ゆる、二百里の山川に恥辱を忍び、苦勞を盡して、やつと参つた真心が知れぬと見ゆる、お局様御消息が何れの証とならう、疑はれては、お局様の心には垣があつては面白くない、兎に角手渡し申すは心弱く云つたが、お絹は承知しなかつた。

「疑念程恐ろしいものござりませぬ、疑念ある者の目には尾花も幽霊に見ゆる。奥様の御消息に疎忽あつてはならぬ、お疑ひの暗れるまで、斯うして待ち度か致します」

「い、疑ふのではござらぬ、女の足で二百里の山川を、ようもな越しなされた、それを感心致し居るのでござる」

「局は辯解するやうに言つたが、大石様奥方から、御後室様へた消息、それがあれば何よりの證據私から執次ぎ、其の上で目通し許させられる、先づた見せなされませ」

「命にも替へ難い消息、御後室様目通りはぬうちお渡し致されませぬ」

お絹はきつ／＼と言ひ切つた。

「さらば、御方ね目通りはぬに極まらば、そのお文を何の様に休み休む暇なく當家を尋ねた、すなされるな」

「沈つと所持致します、疑ひの暗れぬ例ござりませぬ、おつと時節を待ちます」

「その間を何へお越しなさるお、奥様御守を守つて、眞直ぐに心を盡す、此の身に照らしのなき、お局は強情に云ひ張るのを、又悪い方へつた。

赤穂落、一家中ちり／＼になつて後、世を通じて暗黒の如く思つた、人の心には悪魔ばかりが住居するやうに辯んだ、されば

Dr. Jayme Halfeld

民事 商事 刑事 其他

辯護士

ジャイメ アルフェルド

パウル市アベニダ

電話二六番

上田商店

北西線

ブ、アルベス驛真前

農産物

アルマゼン

(ENGENHEIRO CIVIL)

測量 製圖

凡 土木業 一切迅速 精確 責任を以て御相談に應申候

ノロエスタ線リンス市 郵函一七九

全線 郵函一七八

土木技師 野村 秀吉

プロミオンへ移轉致しました

が郵便は何れへも御使用願

大の眞心も、お絹の忠義も、局の目には光が無かつた、あるまじき事をあり得べき事のやうに云ひなして、いふせん院様へ近付かうとする敵方の問者かも知れぬと思つた。

「よいお覺悟や、それならあなたにはあなたの思召す通りになさる、私は、あなたの方の御口上を執次ぎする口を持たぬで喃」

局は口を曲めて云つて、座を立つべく片膝起した。

「あつ、お局様」と、お絹は慌て、呼び止めて「それでは私共立つ瀬ござりませぬ、苦勞に苦勞してこれまで参つた甲斐ござりませぬ」

「あなたの方の勝手手ぢや、素性も定かた無の旅の女を、御後室様の御前へは出されませぬ」

斯う云つて身を起した、お絹はとろ／＼島もなかつた。

HOTEL USHINO

サントス市

潮ほてる

館主 前田吉太郎

電話 一九二四

三二八

穀物 仲買

村崎 豊重

ノロエスタ線プロミオン驛

郵函七号

棉、モミ、カフエー、その日の相場で現金取引致します

本日食料品

為替相場下落のため物價騰貴の兆あり 好機を逸せず御用命下さい

正宗、白鶴、奈良漬、赤貝、蒲鉾、焼松茸、さくら、福神漬、米イカ、筍、うなぎ、揚巻、若目、干鰯、青板昆布、青刺し、梅干、櫻海干、茶、寒天、麩、高野豆腐、味の素、蓮根、厚板、昆布、浅草のり、スルメ、イリコ、チリメンイリコ、干ホッキ貝、干ソバ、外珍品澤山あります。

神田醬油もありませぬ

マンチメントス常市最低價段で賣ります。

▲農産物高價買入▲

本店 サンパウロ市

支店 パウル市

Rua Paulista 138

瀬木商店

北西線ペンナ驛

吉野旅館

雜穀珈琲棉

仲買商 右田辰彦